

白糠町食と食材PR大使 アンジェエラ佐藤さんに聞く 白糠町の魅力



Profile プロフィール

本名 佐藤 綾里
出身地 札幌市
生年月日 1975年5月3日
免許 S.A.Jバッジテスト1級
※全日本スキー連盟が定めるアルペンスキーの技能テスト
趣味 古着収集、食べ歩き
座右の銘 『我以外皆我師』

大食い女王として、日本各地のイベントや全国放送のテレビ番組でも活躍しているアンジェエラ佐藤さん。2016年から、本町の大きいイベントに度々登場し、2017年からは、「食と食材PR大使」として、食を通じた本町の魅力をインターネットのSNS（会員制交流サイト）や自身のブログなどで発信しています。

大使となって3年目、現在の思いを伺いました。

—本町の「食と食材PR大使」になつていただき今年で3年目を迎えました。アンジェエラさんにとって白糠町はどんな存在ですか？
「私にとって、白糠町は第二のふるさとです！本当に白糠町が好きになつてしまい、道内に限らず、道外でも白糠町の名前を見つけたうれしくなります。普段は札幌にいますが、白糠町出身の方から『応援してます』と声をかけられることも増えてきて、そのたびにありがたいなと思つてます」

—アンジェエラさんから見た白糠の魅力はなんでしょう？

「なんととっても食のおいしさです！特に魚がおいしいと思います。北海道で一番だと思います。」

そして、魚の中では、なんととってもシシャモです。私はそれまではそんなにシシャモに興味を持っていなかったのですが、白糠のシシャモを食べてそのおいしさに目覚めました」

—「白糠ししゃもの日」には焼きシシャモを200尾食べていただきましたね。

「あれもおいしかった！全く飽きないので全部食べ切りました！」

—食以外ではどうですか？

「人の温かきですね！特に女性の皆さんが私を見ると「お腹空いてないかい？」と声を掛けてくださるのがうれしいです。私はもういい大人ですが、子どもを見守るような温かきを感じます。飲食店の方たちもこっそりサービスしてくださったり（笑）本当にありがたいことです」

—印象に残ったイベントはなんでしょう？

「カミパラですね。じゃんけんおじさんが特に印象的でした。小さい子どもの相手をしてちゃんと楽しませていて、良いお祭りだなあと思いました。都会ではああいいう光景は見ないです」